

新町小学校だより



～かしこく こころゆたかに
たくましく生きる 新町の子～



学校ホームページ

令和7年度 第11号

令和7年10月21日

津市立新町小学校

楽しかったね！ディキャンプ(5年)

10月10日(金)、5年生が楽しみにしていたキャンプを津市青少年野外活動センターで実施しました。

午後1時過ぎに学校を出発し、野外活動センターまでは歩いて移動しました。午後2時前には野外活動センターに到着し、実行委員の進行でオリエンテーションを行った後、学年レクリエーションで「しっぽ取り」と「ふえおに」「手足ビシャビシャゲーム」「電気ビビンビビングーム」をして、5年生みんなで楽しみました。

学年レクリエーションの後は、いよいよ班に分かれて夕食づくりです。キャンプの夕食の定番と言えば、みんな大好き「カレーライス」です。まず、かまど担当の児童が薪を組んで新聞紙を使って火をおこします。上手く火をおこせた班もあれば、なかなか火をおこせず苦労する班もありましたが、先生の助けもあって、最後は全ての班で無事、かまどの火をおこすことができました。飯盒担当の児童は、飯盒にお米を入れ、水加減を調整して、かまどの火にかけます。飯盒から水が吹きこぼれていなか気をつけながら、飯盒の蓋を恐る恐る開けて上手く炊けているごはんに満足そうな子どもの様子が見られました。カレー担当の児童は、ジャガイモの皮をピーラーで丁寧にむいたり、タマネギを包丁で切ったりする下準備に大忙しました。野菜や肉を鍋に入れ、火にかけてカレールーを入れて、美味しいカレーが出来上がった班からカレーライスを頂きました。自分たちで苦労してつくったカレーライスはとっても美味しかったようで、どの子も嬉しそうにカレーライスを食べていました。

夕食の後は、キャンプファイヤー開始です。火の神から「団結の火」「協力の火」「友情の火」をもらい、中央のマキに点火してキャンプファイヤーがスタートしました。音楽に合わせて「マイムマイム」や「ジェンカ」をみんなで踊って楽しみました。

午後6時半ごろ、終わりの集いをして、楽しかったキャンプも終了です。今回のキャンプは子ども達のよい思い出になったことと思います。

保護者の皆様にはキャンプの準備や帰りの迎え等、いろいろ協力していただき、ありがとうございました。



学年レクレーション

かまど担当

飯盒担当

カレー担当

班で美味しいいただきます！

キャンプファイヤー

谷川士清について学びました(4年)

10月9日(木)と10日(金)、谷川士清の会の方々にお世話になり、4年生が学級ごとに士清について教えていただきました。

最初は新町会館で、紙芝居を使いながら、士清が生まれてからどのようなことを行ったかについて話を聞かせて頂いたり展示してある資料を見学させていただいたりしました。

新町会館での学習を終えた後は2グループに分かれ、谷川士清旧宅と谷川神社・福蔵寺を見学しました。谷川士清旧宅では士清の暮らしぶりや多くの資料を、谷川神社・福蔵寺では反古塚やお墓等を見学させていただきました。子ども達は、自分たちの住んでいる近くに、こんな立派な人がいたことに驚くとともに、改めて士清への興味がわいてきたようでした。谷川士清の会の方々の話を聞いたり、旧宅や谷川神社を見たりして、分かったことや気づいたことを、たくさんメモしている子ども達の様子が見られました。

今回の見学で、分かったことや気づいたことを、学級でも話し合いながら深めていって、11月22日(土)の学習発表会でグループごとに発表する予定です。



新町会館にて



谷川神社



谷川士清旧宅

男の子・女の子について学びました(1年)

10月17日(金)の3・4限目に、NPO 法人 LGBT「家族と友人をつなぐ会」東海理事の浦狩知子さんに来ていただき、1年生がお話を聞かせてもらいました。

浦狩さんはトランスジェンダーの我が子からカミングアウトを受けたことをきっかけに、多くの人が同じ悩みを持っていることを知り、多様な性の子ども達が生きやすい社会になるよう三重県内外の各所で講演活動を行ってみえます。

浦狩さんからは、体は女だけれど心は男の人や、体は男だけれど心が女人がいること、自分の娘から女の子で過ごしていくことが苦しいと打ち明けられ男として過ごしていることなどを教えてもらいました。お話の中で、浦狩さんは「誰かが体のことやお家のことで、みんなと少し違ったとしても、友だちにとってはそれが当たり前だから『それもいいね』って、笑顔で話してみてね」と子どもたちに伝えてもらいました。

今日の浦狩さんのお話を聞いて、子どもたちは、身の回りには「男は・・・」「女は・・・」といった性による決めつけがたくさんあることや、男だから・女だからといった目で友だちを見るのではなく、友だちのありのままの姿を受け入れていくことが大切であることに気づいていたようでした。



1年生みんなで話を聞きました



教室にも来てもらいました



質問にも答えてもらいました